

研究主題 安心できる学級・学校づくり ～生徒指導の三機能を生かし、子どもの主体性を育てる～

議題 「修学旅行で楽しい思い出を作ろう」 (1)ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

1. 学級活動(1)で育成を目指す資質・能力

- 学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けるようにする。
- 学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践することができるようにする。
- 生活上の諸問題の解決や、協働し実践する活動を通して身に付けたことを生かし、学級や学校における人間関係をよりよく形成し、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。

育成すべき資質・能力の重要な視点

人間関係形成

違いを認め合い、みんなと共に生きていく力を育てる。

社会参画

よりよい集団や社会を作ろうとする力を育てる。

自己実現

なりたい自分に向けてがんばる力を育てる。

2. 第5学年及び第6学年における評価規準

| 集団活動や生活についての 知識・理解 | 集団の一員としての 思考・判断・表現 | 集団活動や生活への 関心・意欲・態度 |
|--|--|---|
| みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。 合意形成の手順や深まりのある話し合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けている。 | 楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、信頼し支え合っ実践している。 | 楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。 |

3. 議題について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、全体的に学習に真面目に取り組むことができている。学級の係活動にも意欲的で、自分たちで話し合っ係を決め、一人一人が選んだ係に所属して、好きなことや得意なことを生かした係活動に進んで取り組んでいる。各教科の授業や係活動、学級の当番など、男女関係なくいろいろな人と関わる機会はあるが、控えめな児童や相手の気持ちを考えることが苦手な児童も多い。クラス替えもあったこともあり、休み時間には仲の良い決まった同性の友達と過ごすことが多く見られる。また、自分の考えを表現することに消極的な児童も多く、ペアやグループ、学級全体での話し合いが一部の児童の意見で進むことも多い。4月当初の学年の目標を考える際には、「いろいろな人と関わられるようにしたい」「最上級生としてお手本になりたい」という意見が多く、みんなとよりよく関わりたいという気持ちは持っている。

学級活動については、昨年度からそれぞれの学級で計画委員を輪番制で務め、児童から出てきた議題をもとに月に1回程度、学級会を行ってきた。「学級のみならず仲間を深めたい」という児童の思いから、話し合ったことをもとに集会活動を行ったり、3学期には視点を学級外に広げ、「新入生のため」「卒業する6年生のため」にできることを考えて実行したりしてきた。今年度は、4月当初に1年間の見通しを立てる中で、みんなでやりたいことを一人一人が考え、「6-2やりたいことリスト」を作成した。そのリストや出てきた議題案をもとに「6-2スタート会をしよう」や「毎日みんなで関わろう」を行った。計画委員が事前の準備を行い、「出し合う」「比べ合う」「まとめる」の話し合いの流れを意識して進めることには慣れてきて、安易に多数決に頼らず、心配なことや不安なことへの意見も大切にす姿勢が見えてきている。しかし、自分の意見を伝えることを遠慮したり抵抗を感じたりしている児童や、友だちの意見を受け入れきれず自分の意見を通す児童もいるという現状がある。また、全体を通して、友だちの意見をつなぐことに弱さがある。

(2) 議題選定の理由

本議題は、6月中旬に控えた修学旅行をみんなのいい思い出にしたいという児童の思いから選定された。これまでの学級会では、クラス替えをしたこともあり、いろいろな人と関わり仲を深めるためのレクや短い時間でできる活動を考えて実践してきた。活動後、「少しは友達と関わるのができた。」「普段話せていない人と話せた。」「まだ自分からは話すことはできていない。」などの振り返りが見られた。このことから修学旅行をみんなのいい思い出にするためには「いろいろな人と関わる」ことが大切だという意見が出てきた。みんなと関わり仲を深める工夫を考える中で自己決定する場を大切に、より達成感を感じることができるようになりたい。

4. 指導と評価の計画

| 事前の活動 | | 本時の展開 | | 事後の活動 | |
|---|---|--|--|--|--|
| 日時 | 計画委員の活動計・学級全員の活動学 | 本時のねらい みんなと関わり、楽しい思い出を作るための内容と工夫を考えることができる。 | | 日時 | 計画委員の活動計・学級全員の活動学 |
| 5月26日(木) ①昼休み ②帰りの会 | ①議題の決定計 ・やりたいことリストや議題カードをもとに話し合う議題を決める。 ②議題の周知計 ・提案理由を明らかにして、学級全員に伝え、学級会コーナーに掲示する。 | 話し合いの順序 | 気をつけること ○留意点 | 6月2日(木) ①②朝の会 | ①決まったことを知らせる計 ・学級会で話し合ったことをもとに決まったことを知らせる。 ②役割分担学 ・決まったことをふまえて役割を決める。 |
| 5月27日(金) ③昼休み ④帰りの会 | ③役割分担計 ・学級会の役割分担をする。 ④案募集学 ・学級会ノートに自分の考えを記入する。 | 1 はじめの言葉 2 計画委員の紹介 3 議題の確認 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">修学旅行で楽しい思い出を作ろう</div> <p>・めあてをもって自分の役割に臨めるようにする。</p> <p>◎目指す児童の姿(観点)【評価方法】</p> <p>◎修学旅行で楽しい思い出を作るためにバスの中でできることや約束を、根拠を明確にしながら発言したり、友だちの意見と比べて聞いたりしている。 【観察・発言】</p> | 6月8日(水) ③学級活動 | ③修学旅行に向けての準備学 ・考えた役割を共有し、準備を行う。 |
| 5月30日(月) ⑤昼休み | ⑤案の整理計 ・学級会ノートに目を通し、書かれた意見を整理する。 | 4 提案理由の確認 5 めあての確認 6 決まっていることの確認 | | 6月15日(水)～ ④学校行事 | ④修学旅行学 ・めあてを意識して、楽しく活動する。 |
| 5月31日(火) ⑥昼休み | ⑥学級会のシュミレーション計 ・進行、板書をイメージしながら確認し、話し合いの見通しをもてるようにする。 | 7 先生の話 8 話し合い 話し合うこと① 「何ができるか」 話し合うこと② 「楽しむための約束」 | | 6月20日(月) ⑤学級活動 | ⑤振り返り学 ・めあてに対する振り返りをするとともに、自他の頑張りも認められるようにする。 |
| ◎目指す児童の姿(観点)【評価方法】 ◎活動への見通しをもち、意欲的に取り組もうとしている。 (主体的態度) 【提案カード・観察】 ◎思い出に残る修学旅行にするためにバスの中でできることを学級会ノートに書いている。 (知識・理解) 【学級会ノート・観察】 | | 9 決まったことの発表 10 振り返り 11 先生の話 12 おわりの言葉 | | ◎活動を振り返り、自他の頑張り気付いたり、次の活動に生かそうとしていたりしている。 (主体的態度) 【行動観察】 ◎自分たちで決めめあてを意識し、友だちと協力して取り組んでいる。 (思考・判断・表現) 【行動観察・振り返りカード】 | |

5. 板書計画

第3回学級会

議題
「修学旅行で楽しい思い出を作ろう」

提案理由
一期一会の修学旅行で、一人残らずみんなが楽しい思い出を残したいから

めあて
楽しい思い出にするためにみんなでできることを考えよう。

決まっていること
バスの移動時間にできること

話し合うこと① 何ができるか

比べ合う
しりとり
クイズ
伝言ゲーム
カラオケ大会
ビンゴゲーム

まとめる
話し合うこと② 楽しむための約束

出し合う
比べ合う
拍手する
ルールを守る
くじをくらない

まとめる

ふりかえり